

法人会ニュース



「税のひろば」で税金クイズに挑戦する親子と安田税務署長
(11月12日・13日 農協まつり会場)

法人会の基本的指針

法人会は
よき経営者をめざすものの団体として
会員の積極的な自己啓発を支援し
納税意識の向上と
企業経営および社会の
健全な発展に貢献します。

消費税納期内納付

 法人会 一声運動

発行所

 社団法人 壱岐法人会

広報委員長 柳 澤 護

事務局

壱岐市郷ノ浦町東触590番地4
TEL・FAX 0920 (47) 5880
E-mail: ikifojin@siren.ocn.ne.jp
<http://iki.or.jp>



新年のご挨拶

壱岐法人会長 長 田 玄一郎

新年明けましておめでとうございます。

平成24年の初頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は当法人会の事業運営につきまして、会員各位のご協力および関係行政機関ならびに諸団体の一方ならぬご支援を賜り、お蔭様で年度当初の計画通り事業が推進できていますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年3月に発生した未曾有の東日本大震災に伴いその影響で日本経済の先行きも混沌としております。その復興財源の確保に加え、円高対策、また社会保障と税の一体改革で消費税率を2段階で10%に引き上げる法案が提出されようとしています。

我々中小企業にとりましては、今年は苦難の年となりそうです。そのような環境の中、壱岐法人会も公益法人として生まれ変わる準備は着々と進んでおります。5月の総会には、『長崎県で2番目の公益法人に認定されました』と発表できるのではないかと考えております。

私達にとって壱岐の島はかけがえの無い故郷です。この郷土の発展は私達に課せられた使命でもあります。壱岐の島の未来のためにも前を向いて進もうではありませんか。どうかお互いにこの厳しい時期を乗り越え明るい明日を呼び寄せて行きましょう。

最後に本年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます、念頭のご挨拶とさせていただきます。

.....



e-Tax
でデータ送信!

便利な

申告書の作成は 国税庁ホームページの

「確定申告書等作成コーナー」で!!



又は
書面で提出!



www.nta.go.jp

画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税、消費税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。
また、作成したデータは、「e-Tax」を利用して提出できます。

※e-Taxの利用に際しては、電子証明書の取得(手数料が必要です。)、ICカードリーダライタの購入などの事前準備が必要です。

新年のご挨拶

壱岐税務署長 安田 秀 男

新年明けましておめでとうございます。
平成24年の年頭に当たり、社団法人壱岐法人会の皆様方に、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、長田会長をはじめ役員並びに会員の皆様方には、税務行政に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

早いもので、私が昨年七月に壱岐税務署に赴任いたしまして半年が経過しましたが、この間、お招きを受け参加させていただきました役員会、各種研修会、税を考える週間中のJ A フェスタにおける「税のひろば」等で皆様方が精力的に活動されているお姿を拝見し、そのご尽力に深く敬意を表する次第でございます。

このほか、小学生に対する租税教室の講師派遣、老人ホームへの慰問、一支国幼児相撲大会、壱岐市少年フットサル大会、「結の会」のバザーへの参加など、地域に密着した幅広い社会貢献活動を展開されておられます。

このような活動を通じて、会員企業のご発展並びに組織の拡充、強化に積極的に努めておられる中、壱岐法人会は「公益法人化」に向け積極的に取り組まれていると伺っております。

今後も、早期の公益法人認定に向け一丸となって取り組んでいただくことを期待しております。

私どもは税務行政の運営に当たり、IT化を進め、事務の簡素化・効率化を図るとともに、行政の透明化を進め、親しみやすい組織を目指し納税者サービスの充実に取り組む一方、悪質な納税者に対しては厳正に対応することで国民の皆様のご理解と信頼を得るよう努めて参る所存であります。

更に、これからも、皆様方と長年にわたり培ってきました信頼関係をより一層大切にして参りたいと考えております。

また、国税庁が最重要課題として取り組んでおります、国税電子申告・納税システム（e - T a x）の利用拡大、定着につきましては、こ



れまで、会を挙げてあらゆる機会を通じ、積極的な普及活動を実施していただきました結果、その利用割合が福岡国税局でトップクラスとなっております。

これもひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物

であり、改めてお礼申し上げる次第でございます。

さて、新年を迎え、いよいよ個人の確定申告の時期が間近に迫りました。

税務署では、納税者の方々がご自身で申告書を作成することができる、国税庁ホームページの「所得税確定申告書作成コーナー」又はe - T a xを利用した申告書の作成提出をお願いしております。

法人会会員の皆様におかれましては、ご自身の申告はもとより、社員並びに取引先の方々に「所得税確定申告書作成コーナー」又はe - T a xの利用をお勧めいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、税務行政に対しまして、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が法人会会員企業にとりまして更なるご繁栄の年となりますよう、また、法人会会員並びに家族の皆様にとりまして、明るく健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

ネットなら便利24時間

確定申告

- 確定申告書作成コーナーは24時間申告書が作成可能！
作成した申告書は印刷して税務署にも提出できます！
- e-Taxから平成24年1月16日(祝)～3月15日(木)まで
24時間申告可能！ e-Taxからは申告を確定！

確定申告はお早めに！

所得税 2月16日～3月15日

確定申告

検索

平成23年度「税を考える週間」 11月11日～17日

納税表彰式

税務署長納税表彰式が11月9日、ビューホテル壱岐にて举行されました。多年にわたる税務功労などにより、次の方々が表彰の栄に浴されました（敬称略）。

【税務署長納税表彰受彰者】

- ・野澤 兵 男
（社団法人壱岐法人会理事）
（壱岐間税会顧問）
（壱岐税務署管内税務連絡協議会監事）



表彰を受ける野澤兵男理事



- ・山内 昭 人
（長崎県酒造組合壱岐支部理事）
（社団法人壱岐法人会監事）

【税務署長感謝状受贈者】

- ・大畑 行 義
（郷ノ浦町青色申告会会長）
- ・倉 本 眞 臣
（壱岐間税会理事）

税のひろば

11月12日、13日の両日、芦辺町国分の壱岐家畜市場において行われた農協まつり会場内で「税のひろば」を開催しました。

この行事には、法人会等関係団体役員を中心に、40余名が参加し、税金クイズ

への参加の呼びかけ、クイズの説明など獅子奮迅の活躍をいただきました。役員の皆様お疲れ様でした。

また、税金クイズにつきましては、島内外から、2,700名を超える応募を頂き、厳正な抽選の結果、160名の方々に賞品をお送りしました。



白川市長も税金クイズに挑戦



税金クイズに挑戦する小学生

税金クイズ応募状況 (人)

地区別	区分	23年度	22年度	21年度
郷ノ浦町	当選	55	50	59
	応募	945	729	778
勝本町	当選	42	39	37
	応募	735	578	489
芦辺町	当選	40	48	44
	応募	691	699	588
石田町	当選	21	22	19
	応募	368	333	254
島外	当選	2	1	1
	応募	35	14	11
合 計	当選	160	160	160
	応募	2,774	2,353	2,120

税の作文・標語の表彰

彦岐税務署管内税務連絡協議会、彦岐納税貯蓄組合連合会、彦岐税務署では、「税を考える週間」行事の一環として、高校生・中学生の皆さんから、作文・標語を募集しました。

高校生の作文303編、中学生の作文204編、中学生の標語193編の作品の中から、次の方々が優秀作品に選ばれました。

【彦岐税務署長賞】

〔税に関する高校生の作文入賞者〕

- ・私たちの生活と税
彦岐高等学校 一年 田山 三華子
- ・今、できること・・・
彦岐商業高等学校 一年 松永 圭悟

〔中学生の税についての作文入賞者〕

- ・税の大切さ
勝本中学校 三年 松本 侑子
- ・「国の仕事をするために」
勝本中学校 三年 中原 都子

〔税に関する中学生の標語入賞者〕

- ・税金は 暮らし支える 宝物
勝本中学校 一年 福田 有航
- ・税金を みんなで正しく 納めよう
勝本中学校 一年 町田 ひかり
- ・「今」よりも「未来」を考え 納める税
芦辺中学校 一年 豊増 将進
- ・おさめよう 一人一人の 責任で
芦辺中学校 一年 永尾 葵
- ・大切な 暮らしを守る 消費税
石田中学校 一年 小畑 翔大

【長崎県租税教育推進協議会代表幹事賞】

〔税に関する高校生の作文入賞者〕

- ・税金
彦岐高等学校 一年 吉福 楓

【長崎県納税貯蓄組合連合会長賞】

〔中学生の税についての作文入賞者〕

- ・税金について考える
郷ノ浦中学校 三年 山口 日南子

【彦岐納税貯蓄組合連合会長賞】

〔中学生の税についての作文入賞者〕

- ・税の大切さ
郷ノ浦中学校 三年 福田 博美
- ・税とくらし
郷ノ浦中学校 三年 武原 空
- ・税について分かったこと
郷ノ浦中学校 三年 横山 美和
- ・「税」＝「幸せ」の方程式
勝本中学校 三年 白川 優
- ・税金の種類
勝本中学校 二年 松川 早紀
- ・所得税について
勝本中学校 三年 赤岩 夢
- ・税金について
芦辺中学校 二年 竹藤 友香
- ・税と人とのつながり
石田中学校 三年 上川 雅史

【彦岐税務署管内税務連絡協議会長賞】

〔税に関する中学生の標語入賞者〕

- ・みんなの税 思いをのせて 東北へ
勝本中学校 一年 増田 匠
- ・税金は 国を支える もとになる
勝本中学校 一年 吉原 優弘
- ・納税で 今こそすくおう 日本国
勝本中学校 一年 中村 優弥
- ・納税で 明るい未来を 築こうよ
芦辺中学校 一年 斉藤 旬矢
- ・税金は 身近な所で 役に立つ
石田中学校 一年 吉永 裕士郎



〈租税教室〉

第2回「税に関する絵はがきコンクール」実施

女性部会長 川 上 晴 美

会員の皆さん明けましておめでとうございます。

女性部会は全法連女性部会の決議に基づき、全国一斉に行われています第2回「絵はがきコンクール」を壱岐市内9小学校を対象に行いました。従来から租税教室を開催しておりますが、これらと連動する形で、絵はがきコンクールを実施しています。

コンクールでは租税について感じたことを絵はがきに表現してもらいますが、一方では租税教室に対する理解度を知る上でも、ひとつの指標になるものと考えます。

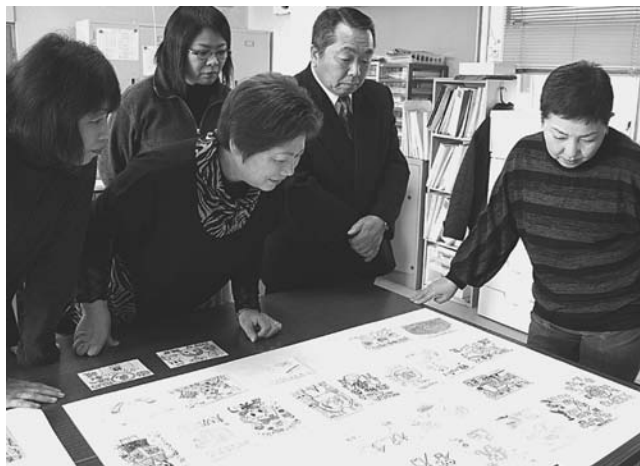
応募作品は厳正な審査を行ない、9小学校各1名の優秀作品を選んで賞状ならびに副賞を授与しました。さらに優秀作品の中から1点選定し、県連に進達しました。

こうして第2回目を終えて思いますことは、子供達にも行事の趣旨がおぼろげながらも、理解できつつあるものか、表現の内容がしっかりしたものになってきたと感じています。

壱岐市におきましては、租税教育推進協議会を中心に小学校高学年対象に租税教室、私達の絵はがきコンクール、さらに税務連絡協議会が

行なう中学1年生を対象とした税の標語、中学2・3年生を対象に税の作文募集と、段階的な取り組みが行なわれており、これらは児童の成長期における税に対する思考にも影響を与えるものと考えます。

法人会の公益事業には税の関連と地域社会貢献活動が車の両輪にも例えられています。女性部会もこうした時代の要請に応えるためにも、私達自身の研鑽と共に部会活動の輪を広げ、地域における法人会女性部会の位置付けを確かなものにしていきたいと思ひます。



審査をする郷ノ浦中学校品川校長と女性部会役員

「結の会」抽選会を支援 法人会役員が景品を提供

11月7日、知的障害者通所授産施設「結の会」抽選会が行なわれました。法人会はこうした障害者の方々が日常の訓練によって社会復帰をめざしておられる施設の運営に対し、ささやかな支援を行なってきました。

今年も法人会役員がそれぞれに持ち寄った景品と会独自の提供品を合わせて、法人会抽選会を実施しました。

当日は時折小雨の見舞う天候にもかかわらず、700名余りの参観者を数えることができ、結の会が求めておられる地域社会の理解度の浸透にもお役に立てたものかと考えま

す。

今後はこうした公益性の高い事業活動を支援していく中で、公益法人としての使命の一端を果たして行きたいと思ひます。



抽選会を行う法人会役員と結いの会スタッフ

インフルエンザを予防しましょう

吉崎市健康保健課 保健師 長 尾



*** インフルエンザとかぜの違い***

	インフルエンザ	か ぜ
発 熱	急激に高熱となる。	比較的ゆっくり発熱する。
症 状 の 部 位	強い倦怠感など全身的	喉や鼻など局所的
悪 寒（寒 気）	強い	軽い
か ら だ の 痛 み	強い	なし
重 病 感	あり	なし
鼻・咽 頭 炎	全身症状に継続して起こる。	先行して起こり、特徴的にみられる。

*** 予防のポイント***

1. ウイルスに接触しない。

- ・ 流行している時は出来るだけ人が多く集まる場所をさける。

2. ウイルスに負けない。

*** 食事のポイント***

- ・ 肉や魚・緑黄色野菜を多くとる。
- ・ 食物繊維・ビタミン類・発酵食品を多くとる。

※発酵食品とは・・・

納豆・味噌・ヨーグルト・乳酸菌飲料など

*** 休養のポイント***

- ① 十分な睡眠 ②規則正しい生活をおくる。 ③ストレスをなるべく少なくする。

ウイルスは感染した人の咳やくしゃみなどのしぶきに多く含まれており、そのしぶきを吸い込む事で感染する。

食べ物だけでなくウイルスも入ってくる腸には、体の免疫細胞の割合がある。そのため腸内で善玉菌がよく働くと、免疫が活性化ある。

3. ウイルスを撒き散らさない。

- ・ 感染を広げないために、「咳エチケット」を守る。
- ① 咳・くしゃみの際はティッシュで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむける。
- ② 熱や咳・くしゃみのある時は、マスクを利用する。



4. ウイルスを洗い流す。

外出から戻ったらまず、手洗い・うがいを！

身の回りのいろいろなものに、ウイルスはついていて、それに触れた手で目や口に触れると感染する。

5. ウイルス死滅させる。

- ・ 加湿器を上手に使う。

ワンポイント：濡れタオルを干しても OK！

温湿度計で、常に部屋の温度と湿度をチェックしよう。

最適な湿度 50～60%

乾燥すると気管支の防御機能が低下しウイルスが活性化ある。

6. ウイルスへの免疫をつける。

- ・ ワクチンによる予防接種（重症化を防ぐ）

<注意> ウイルスは、毎年変異を繰り返すので、ワクチンは毎年接種する必要がある。



租税の啓蒙を図るために

「税務連絡協議会」運営に参画

壱岐市内の税務関連集合体として、17団体2,177名の課税事業者で組織する税務連絡協議会の活動は上部機関からも高い評価を頂いています。

なかでも「税を考える週間」期間中の『税のひろば』行事には、傘下団体の役員延べ45名が参加して税金クイズを行ない、地域住民に正しい税知識の啓蒙を呼びかけています。

1月16日に勝本町で開催されました税務連絡協議会小委員会は傘下団体の税務担当者で構成され、講師に壱岐税務署・安田署長、総務課長、統括官、係長、担当者の出席のもと各団体のe-TAXの普及状況、申告月日などを発表し合い、統括官の指導を受けるなど申告事務の円滑な推進に資しています。

これらの活動の積み重ねが壱岐地区における



税務連絡協議会小委員会のもよう

e-TAXの普及率や消費税の期限内納付の実績として表れています。

こうした税務連絡協議会の企画、運営には法人会が中核としての役割を果たしており、今後公益法人が求める地域社会貢献や税制の遂行に資する事業目的にも合致するものと考えています。

法人会は今後も税務連絡協議会の活動と連携しながら、地域における税のオピニオンリーダーとしての役割をしていきたいと思ひます。

雑感

年頭に当たり思ひますことは、今年ほど全国の人達が1年平穏な中で過ぎていくことを願った年は少ないでしょう。

前年発生した東日本大震災は幾多の爪痕を残していますが、今も帰らぬ肉親を待ちあぐねる人、安住の地を奪われ仮設住宅の寒々とした中で新年を迎えられた人、いつ果てるとも知れぬ放射能汚染に怯える人など、さまざまな被害に苦しんでいる人達の姿を風化させてはならないと思ひます。

さて、法人会も国の公益法人制度改革により、新たな公益法人として認定取得の申請を行いました。そこには従来の法人会組織とは異なり、総事業費の50%以上を社会一般のために支出する公益事業が必要となります。公益事業は広く一般への参加を呼びかけるなど「不特定かつ多数の人々の利益増進」に資することが求められます。当然、小規模法人会では困難な場面に遭遇するかも知れません。現状では全法連が全法人会の公益法人化を機関決定しており、法人会の方向性もおのずと形つくられました。こうした情勢を踏まえ、壱岐法人会も公益法人として進むことにしました。

時代の変化にわが国の経済もグローバルな動きに左右され、不安定な要素が深まるものと思ひられます。お互いに情報を正しく捉え、この困難な時代を乗り越えていきたいものです。今後の事業のご繁栄を祈念申し上げます。

チャリティーゴルフ大会開催

青年部会長 福田 浩之

会員の皆様、明けましておめでとうございます。日頃は青年部会活動にご支援頂き厚くお礼を申し上げます。

ご承知のように国の公益法人改革によって、法人会も新たな公益法人として出発することが定まっています。これに伴い青年部会の活動にもより公益性の高い内容が求められるようになりました。前年3月に発生した東日本大震災によって多くの被災者が今なお困窮した日々を余儀なくされておられることを思ひます時、同胞として何か私達にできることはないかとの思いが今回の行事企画の原点であります。

当日はゴルフを通じて親睦の輪をひろげ、参加者には応分のチャリティーをお願いし、被災者の方々への募金に供したいと思ひます。壱岐市内のゴルフ愛好者の方で我々の趣旨にご賛同頂きましたならば、大会への参加をお願いいたします。

大会日時 平成24年2月19日(日) 9:30開会

開催場所 壱岐カントリークラブ

参加申込 壱岐法人会事務局